

3年間のきずなを確認

～市民発！きずなシンポジウム～

3月28日(土)、しんた21で『市民発！きずなシンポジウム』（登別市社会福祉協議会『きずな推進委員会』主催）が開催されました。

このシンポジウムは、市民主体の福祉のまちづくりを目指し策定された『登別市地域福祉実践計画』（愛称：きずな）が4年目を迎え、これまでの3年間を振り返り、今後の地域福祉を推進していくため開催されたもので、約160人の市民が参加しました。

第1部では、きずなの3年目の報告『きずなを地域の実践に』と題し、鷺別町2丁目いきいきサロン代表の中原義勝さん、NPO法人ゆめみ～の岩倉秀行さん、生活支援員の伴野義昭さんが、それぞれの立場から実践発表を行いました。

第2部のシンポジウムでは、『これからの登別に必要な“きずなづくり”の視点』について、きずな推進委員会委員長の山田正幸さんをコーディネーターに、各地区の発表者5人が、地区の状況や個人の活動から感じた今後のこのまちに必要な取り組みや視点について話し合いました。

登別市社会福祉協議会では、今年創立50周年を迎え、9月26日(土)・27日(日)に市民会館で記念行事を予定しています。



▲第1部の実践発表



▲第2部のシンポジウム

子どもの豊かな感性を育てよう

～お楽しみ会～



4月11日(土)、鷺別公民館で『お楽しみ会』（登別子ども劇場・鷺別小ブロック主催）が開催され、親子約20人が参加しました。

この日は、読み聞かせサークル『おはなしりぼん』による切り絵を見せながらの童話の読み聞かせが行われ、子どもたちは夢中になって聞き入っていました。

また、親子での遊びとして、新聞紙を丸めたボールを買い物カゴに入れる玉入れゲームや折り紙などをして、親子同士やほかの子どもと楽しく遊んでいました。

登別子ども劇場では、プロの劇団などを呼んで生の舞台を親子で鑑賞したり、親子おとまり会や読み聞かせなどの活動を行い、子どもの豊かな感性を育てています。

車に注意して楽しい学校生活を

～新入学児童に対する交通安全啓発運動～

4月8日(木)、若草小学校で『新入学児童に対する交通安全啓発運動』が行われました。

この運動は、新1年生が交通事故に遭わないように、毎年入学式に合わせて交通安全の啓発を行うもので、各小学校持ち回りで開催されています。

今年の会場となった若草小学校の玄関前では、市や室蘭警察署、登別市交通安全協会などから約60人が啓発運動に参加。真新しいランドセルを背負って登校した児童一人一人に、「入学おめでとう。車に気を付けてね」とパンフレットやランドセルカバー、塗り絵などが入った夜行反射材付きエコバックを配って交通安全を呼び掛けました。

今年度、市内各小学校の新1年生は合わせて401人（昨年度は441人）でした。

